



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第87号 2018年9月1日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

草取り、草刈りで大忙し

稲穂が風にそよぎ、たのくろ豆も青々と成長する一方、草もぐんぐん伸び続けます。稲の花が咲いた後は、実るまで静かに見守る田んぼに比べ、畑は作物が草で覆われないよう、土手は茂る草で弱らないよう、まだまだ除去作業に追われます。収穫まで、あと何回やればいいのか。

子ども里山体験

お知らせ & 谷戸往来

HP「谷戸の生きもの」コーナー

谷戸の小さな住人たちにスポットを当てて、美しい写真とともに紹介しています。これを読めば「谷戸の生きもの通」になれること間違いなしです。

鎌倉高校ボランティア活動

受け入れ 7/22(日)

連日の日照りで水の少ない田んぼでの田の草取りでした。泥んこで汗びっしょりになっても、笑顔で働いていました。

子ども里山体験 8/19(日)

子どもの感想から★いつもだったら夜は外灯や家の明かりなどで明るいけど、こういう谷戸には外灯などないから、月がすごく明るく感じました。(小5男) ★一番大変だったのは、最初の畑の草をぬく作業でした。1～2時間くらいかかると思っていたが、20人の子どもと大人でかなり早くぬくことができました。うれしかったです。(小5男)

台風で開催が危ぶまれた「第8回かまくらあそび楽宿」(福島の子どもたちの保養支援)は、無事7/29(日)～31(月)に行われ、真っ黒に日焼けした子どもたちは元気に帰って行きました。谷戸の会の備品は今回も大いに役立ったそうです。

●**谷戸のクモ** 今まで環境別に手入れの方法を考えてみましたが、今後は谷戸の生きものから環境を考えてみます。クモは田畑に関わる人が最も大切にすべき生きものでしょう。有機農法や自然農法では、農薬を使わないので、害虫を食べてくれるクモを大切にします。最近ではクモの減少が気になっています。作業の合間にクモを観察してみませんか。

●**クモ入門** 網（クモの巣）を作るクモと、歩き回るクモの2つのグループがあります。最近ではクモの図鑑が何種類も出ています。図鑑に目を通すと、網の形からオニグモの仲間、クサグモの仲間などおおよその見当がつきますし、歩き回るクモは、体型からコモリグモの仲間、カニグモの仲間、ハエトリグモの仲間などが、簡単に見分けられるようになります。

●**田畑を守ってくれるクモ** 田んぼの水面を歩いているのはコモリグモの仲間です。背中に子グモを背負っているのを見ることから「子守りグモ」の名があります。イネの害虫のウンカを食べると言われます。畑の草取りをしていると、ハシリグモやコモリグモが走り回っている姿を見ます。

●**「敷きわら」がクモを増やす** クモやコオロギは、草が茂った場所より、畑の周辺にたくさんいます。裸地（土がむきだしになった場所）だけでなく、「敷きわら」があると隠れ場所になり数が増えるようです。有機農法では、作物の根元にわらや草を敷く「敷きわら」を重視しますが、雑草の抑制以外に、害虫の天敵であるクモを増やす意味もあるのでしょう。

●**谷戸ならではのクモ** 源氏山などほかの緑地から谷戸へ来ると、クモの多さを感じます。田畑や湿地の環境があるからでしょう。アシ原に暮らす大型のハシリグモ（イオウイロハシリグモ）、トリノフンダマシ、田んぼで目立つナガコガネグモは谷戸を代表するクモでしょう。

●**クモの巣の数で環境がわかる** ナガコガネグモは稲の間に大きな網を張り、シオカラトンボなどを捕らえます。とても目立つクモなので巣の数を毎年数えれば、環境変化のデータとなるでしょう。

体験学習

（深沢小5・田の草取り）まえのときよりは少しらくに感じた。コツはなるべく奥まで手を入れて、少し速めに手をぬく。速すぎるとだめ。こつをつかんでうまくできた。円をかくようにやって手をぬいてみたらやりやすかった。

（御成中1・湿地復元）きゅうけいしていると虫や鳥の鳴き声、風の音や草木がゆれる音で、つかれた自分をいやしてくれました。私はあらためて自然っていいなと思いました。

（富士塚小5・田の草取り）たくさん成長してこいめの緑色になりました。根もたくさんありました。虫が草に止まってました。どろだらけになったけど楽しかったです。夏休みもいきたいです。

（教育支援教室ひだまり）今日はあまり普段体験できない農作業をした。カマ、クワは分かるもののフォークは形自体は知っていたが、名前は初めて知った。また、これほどまでに大変な作業を毎日こなしてられるのも、作物への愛があるからという言葉には感動した。自分たちも実際に道具を使い作業すると、疲れを感じると同時に達成感も味わえた。弥生時代からの人々がやってきた農作業が、結果、人間にとっての大切な生きがいだったりする。

（小坂小5・たのくろ豆蒔き）たのくろ豆はなぜたのくろ豆というのか初めて知りました。草取りをしているとき色々な虫がいました。初めて見る虫がたくさんいました。紙しばいをよんでもらってホタルを見る時のルールがよくわかりました。



（富士塚小5）田の草取り
（小坂小3・谷戸歩き）
わたしがかんじたことは、くうきがいつもとちがってはいっぱいおいがしておいしかった。

体験学習の予定

深沢小5年 10/5、11/8

富士塚小5年 10/4、11/1

小坂小5年 9/10、11/5

3年 9/12

教育支援教室ひだまり

9/25、10/24、11/6

大船中1年 10/25

各班のお知らせ

田んぼ班



8月上旬には穂が出て花も咲き、暑さの中稲は順調に育っています。かかしもお米を見つめています。例年より多めの台風が心配ですが、9月は稲刈りの準備、いよいよ10月初めに収穫が楽しみな稲刈りです。

雑木林管理班



谷戸の草木は、酷暑にも負けず、例年以上に成長しているように感じます。9月になると、稲刈りとはさ掛けに備え、田んぼ周辺の土手や、もめんばたけ奥の草刈りを行います。



8/5 梅の天日干し

植物育成班



湿地や土手の花が綺麗に咲くように、カナムグラやクズの除去をします。ほかに除去する植物も増え始め苦労していますが、手入れをした所としない所では見栄えが変わるため、やりがいを実感します。

生態系保全班



夏のトンボから秋のトンボに移ってきます。ヤゴの種類は水深や状態により変わるため、多くの種類を保つには田んぼや湿地、水路の手入れが必要です。生きもの調査を行いながら保全をしています。

畑班



早い梅雨明け、その後の猛暑、雨不足と畑にはさんざんな天候でしたが、さつまいも、さといも、たのくろ豆、ねぎとみな順調に育っています。その生命力に感動しつつ、秋の収穫を楽しみに待ちます。



7/29 炭焼き小屋周辺の草刈り

農芸班



夏から秋にかけて大量発生するセイタカアワダチソウ。草丈も高く厄介な雑草です。我が班も駆除のお手伝い。刈り取った葉を染料として草木染めをします。自然な黄金色がきれいです。

自然遊び班



昔遊びの達人と、大きさ太さの違う竹笛の音色を楽しみ、親子で交代しながら竹馬に挑戦。竹ぼっくりは、かっぱ、かっぱと軽やかな音をたて、涼しい風の吹く木陰でゆったりした時間をすごしました。



アキアカネ

9月

- 1日 (土) 生 秋の虫の音 ♣
- 2日 (日) 雑 アズマネザサの除去 ♣
- 5日 (水) 生 バッタやコオロギの調査
農 草木染め ♣
- 9日 (日) 田 すがい作り ☆
畑 大根の種蒔き ♣
雑 刈払い機で草刈り
自 子ども里山一日体験 ▶
「谷戸歩き」
かまくらレンジャーズ
- 16日 (日) 田 はさ作り (田んぼ横) ☆
畑 畑の整備
雑 稲刈り前の草刈り
- 19日 (水) 畑 畑の整備
植 秋の野草の調査
- 23日 (日) 田 はさ作り
(もめんばたけ奥)
雑 稲刈り前の草刈り
- 26日 (水) 植 湿地の花畑を見る ♣
- 30日 (日) 田 畔の草刈
畑 畑の整備
雑 下草刈り ☆
試食の日

10月

- 6日 (土) 田 稲刈り ☆
生 秋の虫の音 ♣
- 7日 (日) 田 稲刈り ♣
- 8日 (月・祝) 田 稲刈り
- 10日 (水) 生 秋のチョウの調査
農 小麦選別・小麦の製粉 (製粉機) ♣
- 14日 (日) 田 稲刈り
畑 畑の整備
- 21日 (日) 田 田んぼ周り・道具の片付け・溝切り
畑 さつまいも掘り ♣
雑 雑木林の下草刈り ♣
鎌倉中央公園フェスティバル
- 24日 (水) 畑 さつまいもの収穫 ☆
- 27日 (土) 田 脱穀
- 28日 (日) 田 脱穀 ☆
雑 雑木林の下草刈り
生 モズを探そう ♣
自 里山探検隊
青空自主保育なかよし会保全活動
- 31日 (水) 畑 畑の整備

11月

- 3日 (土・祝) 田 粃干し・はさ片付け
- 4日 (日) 田 粃干し・溝切り・畔土寄せ
雑 雑木林を歩いて調査
- 7日 (水) 生 カヤネズミの調査
畑 小麦の種蒔き ☆
- 10日 (土) 田 粃すり・精米・わら切り
- 11日 (日) 田 粃すり・精米・わら切り ♣
畑 たのくろ豆の収穫・吊るし干し ♣
雑 雑木林の除間伐
自 父と子の里山体験「杉を伐採して、
丸太と杉の花火をつくろう！」▶
かまくらレンジャーズ
青空自主保育にこにこ会保全活動
- 18日 (日) 田 粃すり・精米・わら切り
畑 さといも掘り・洞入れ
雑 雑木林の除間伐 ♣
- 21日 (水) 植 かくれもみじ生育地の手入れ
農 たのくろ豆殻だし・選別 ♣
- 25日 (日) 秋の谷戸まつり 10～14時
- 28日 (水) 畑 畑の整備

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験 (要予約) ▶ 会員以外の方、参加費500円
夜の自然観察・秋の虫の音 18時半～20時半 山崎口しいし前ベンチに集合

田：田んぼ班 畑：畑班 雑：雑木林管理班 農：農芸班
自：自然遊び班 生：生態系保全班 植：植物育成班

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く10時～16時

ホームページ：<http://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス：ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

● 次号 (会報88号) は、2018年11月に発行予定

